地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会 第4回 情報共有会合 議事概要

1. 日時:平成26年1月23日(木) 15時00分~16時45分

2. 場所: 札幌第1合同庁舎10F 共用第1会議室

3. 出席者 21名

北海道開発局(4名)、北海道(2名)、北海道大学(1名)、日本測量協会北海道支部(1名)、建設コンサルタンツ協会北海道支部(1名)、日本写真測量学会北海道支部(1名)、北海道GIS・GPS 研究会(2名)、Digital 北海道研究会(2名)、札幌オオドオリ大学(3名)、国土地理院北海道地方測量部(4名)

4. 議事

- 1) H25 年度の北海道地区産学官連携懇談会の概要報告 開催テーマ:「情報の普及·啓発について」
 - ・委員からの取組報告概要(厚岸町からの取組報告の紹介)
 - 意見討論の概要
 - ・イベントカレンダーのポータルサイト最終案の紹介
- 2)「ジオで遊ぶ!」札幌オオドオリ大学 Geo 部の活動報告 札幌オオドオリ大学 Geo 部 佐藤真奈美部長
- 3) グループ討論

下記テーマから選択

- ・地理院地図を日常的に利活用するための提案(改良点など)
- ・G空間情報の普及·啓発のための地理院職員の活用方法
- ・地理院地図に追加してほしい機能について
- ・札幌オオドオリ大学の取組報告を受けて(感想など)

5. その他

第5回目の開催日 平成26年3月13日(木) 13:10~17:00の間で開催 次回のテーマ:地理院地図(プロダクツ)の活用方法についての提案報告 関係機関からそれぞれ提案を企画(@20分×4=80分)

6. 配布資料

- 1) 事務局
 - (1) 会議次第
 - (2) イベントカレンダー (イベントカレンダーポータルサイト最終案を含む)
 - (3) 第4回情報共有会合出席者名簿及び席次表

- (4) 第5回北海道地区産学官連携懇談会の議事概要
- (5) 第5回懇談会における各委員からの取組報告(地理院、北海道開発局、厚岸町)
- (6) 第5回懇談会 各委員からのアンケート集約
- (7) 地理空間情報を位置整合させて利活用するための手引き (冊子)
- (8) 地理空間情報の高度利活用を目指して(パンフ)
- (9) 平成26年度 公共測量等説明会の開催について(案内)
- (10) 札幌オオドオリ大学紹介(パンフ)

7. 議事概要

- ・事務局より平成 25 年 12 月 10 日に開催した第 5 回地理空間情報に関する北海道地区産学官連携懇談会で各委員から報告された取組報告のうちから、QuantumGIS を活用して津波ハザードマップを直営で作成し経費削減に繋がった厚岸町の取組を紹介したあと、意見討論で委員及び準委員から出された発言の中から地理空間情報の普及・啓発の現状や将来に向けて取り組むべき方向性や課題に関するものを紹介した。
- ・G 空間 EXPO_2013 における Geo アクティビティフェスタに参加し講演された、『「ジオ」で遊ぶ!』札幌オオドオリ大学の活動報告を Geo 部長の佐藤真奈美氏より講演をいただいた。

質疑で出席者より、地理で遊ぶことが最近教育機関でも行われるようになってきている。地理や地図を利用した教育やイベントを取り組む必要があるとの発言があった。

今後の札幌オオドオリ大学の講座として、2月15日(土)に「道ナビ —未知との遭遇ー (仮称)」を予定しており是非御参加いただきたい、との紹介があった。

- ・討論は、グループ毎にテーマを選択し、各グループより討論の概要について発表を行っ た。
 - 1) Aグループ発表概要
 - 標高値や位置情報が表示されるようになり大変便利になった。
 - ・地理院地図は大人向けであり、子供向けのサイトや素材を追加してほしい。
 - ・地理空間情報を一般に普及させるには、オオドオリ大学の活動にあったように、 素人の方のおもしろいアイディアをプロがサポートして楽しむ取組に積極的に参加して行くことが大事である。
 - 2) Bグループ発表概要
 - 官でもルーチンワークから外れて地図で遊ぶことが大事。
 - ・新しい街づくりの設計に、バーチャルリアリティ(空想地図)を活用した素人の方の設計が活かされたら楽しい街づくりに繋がるのでは。
 - ・民間でできることとして、地域防災で若い人が集まらない。若い人が関心をも

つ取組が大事である。

- 3) Cグループ発表概要
 - ・オオドオリ大学の活動報告から、遊び心を重視する取組を行えば地理空間情報 が一般に普及するのでは。
 - ・地理が教育の現場でも重要視されれば普及する。

事務局から

次回開催日時について、予定は3月13日として13時~17時の間で参加者が多い時間帯で開催したい。次回の情報共有会合は、地理院地図(プロダクツを含む)の新たな活用術について、官から1つ、産から3つの利活用事例の報告を考えている。後日事務局から活用術報告について依頼するので御協力をいただきたい。

また、北海道地方測量部からのお知らせとして、4月22日(火)に札幌第1合同庁舎講堂において公共測量等説明会を開催するので参加していただきたい。

・最後に国土地理院北海道地方測量部次長の日下より、会合総括と引き続きの出席を お願いし第4回の会合を終了した。